



【事業概要】

○場所：高知県幡多郡大月町春遠

○目的：貝ノ川川の洪水調節

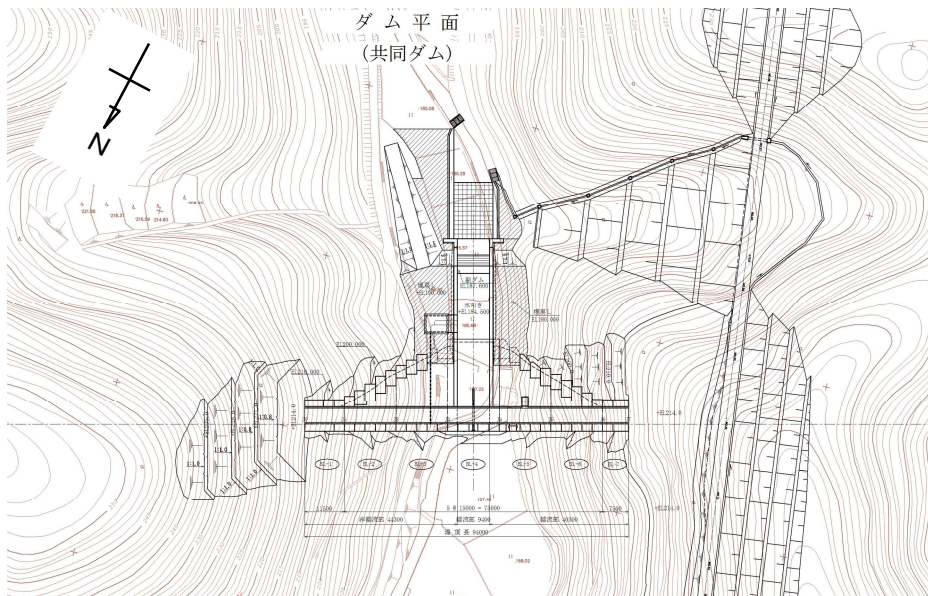
流水の正常な機能の維持

水道用水（660m³/日）の確保

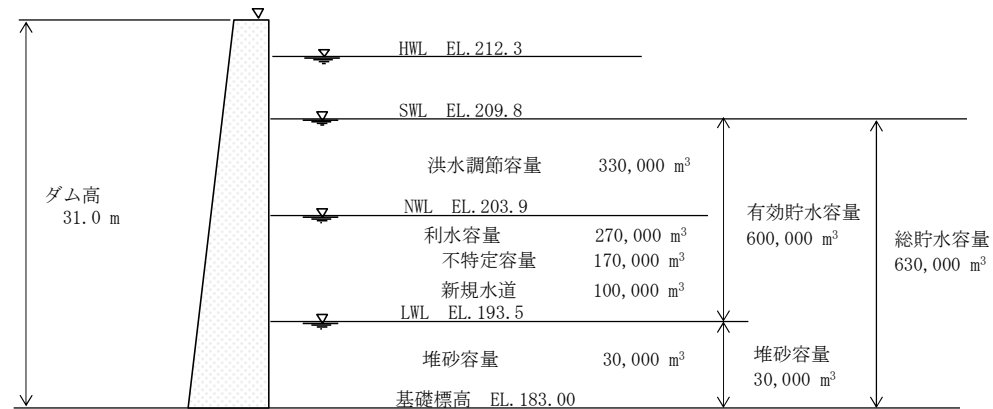
	諸元	
	春遠第1ダム	春遠第2ダム
目的（※）	F、N、W	F
ダム形式	重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム (流水型)
ダム高	31.0 m	23.5 m
ダム天端高	EL. 214.0 m	EL. 195.5 m
堤体積	27,475 m ³	12,000 m ³
堤頂長	112.0 m	100.0 m
総貯水容量	630,000 m ³	88,000 m ³
有効貯水容量	600,000 m ³	84,000 m ³
堆砂容量	30,000 m ³	4,000 m ³
集水面積	0.84 km ²	0.47 km ²

※ F：洪水調節、N：流水の正常な機能の維持、W：上水道

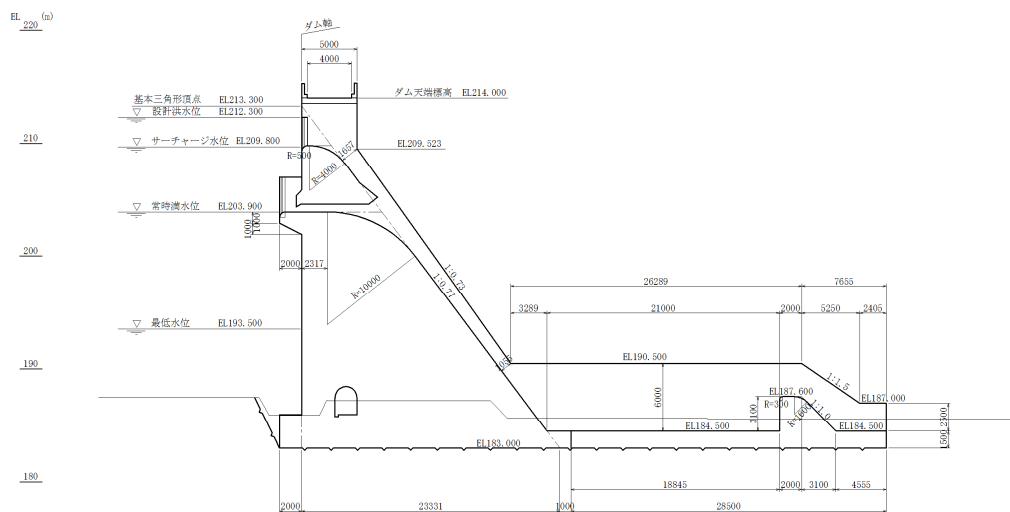
ダム平面図



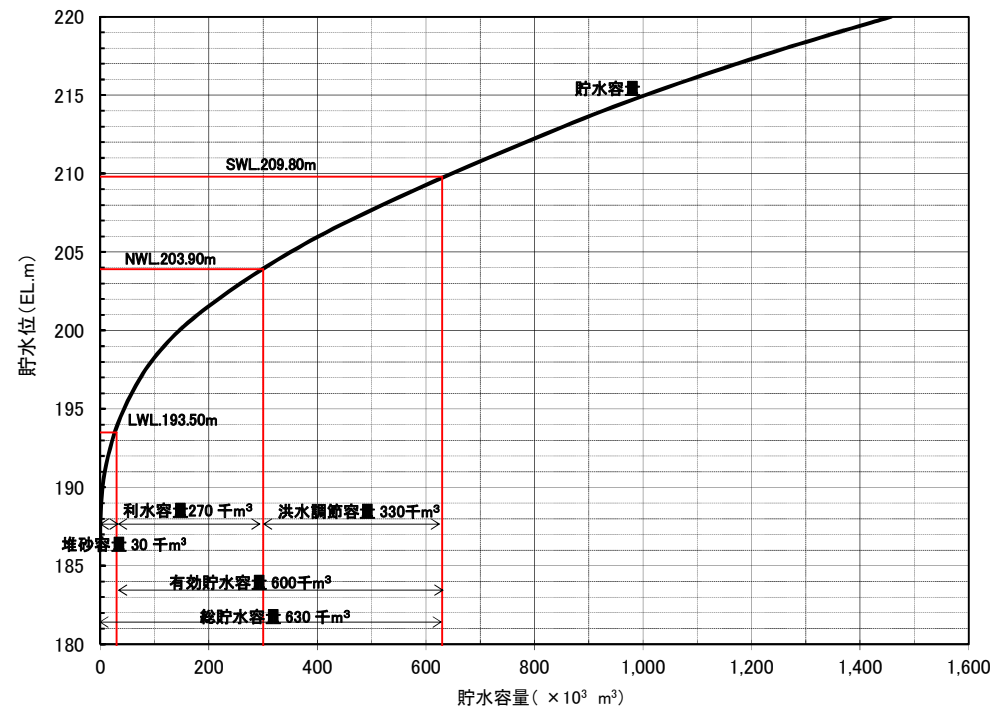
容量配分図



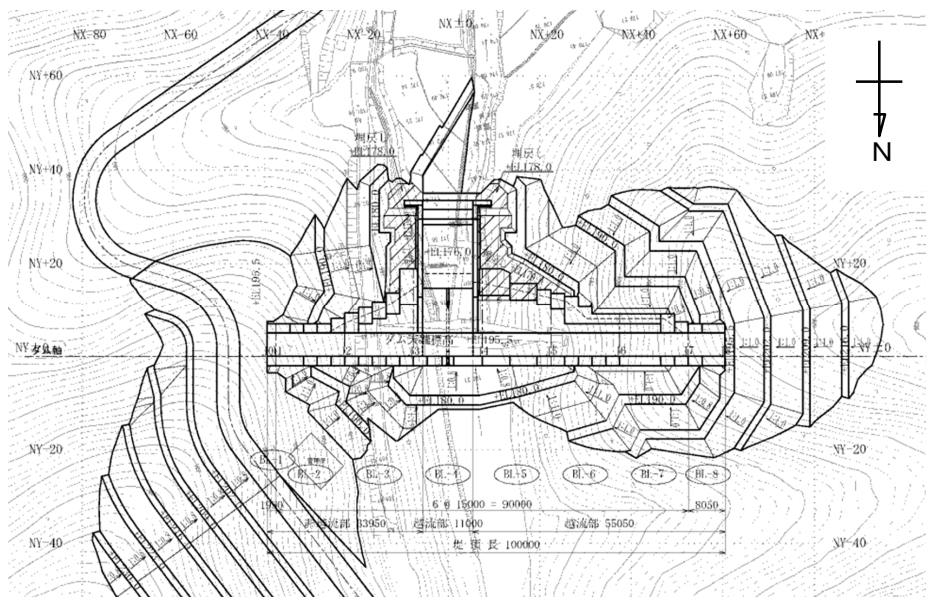
ダム標準断面図



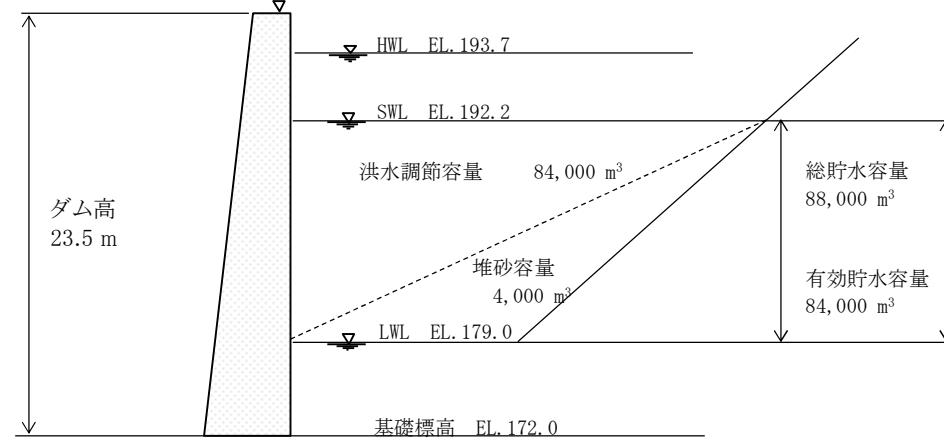
貯水容量図



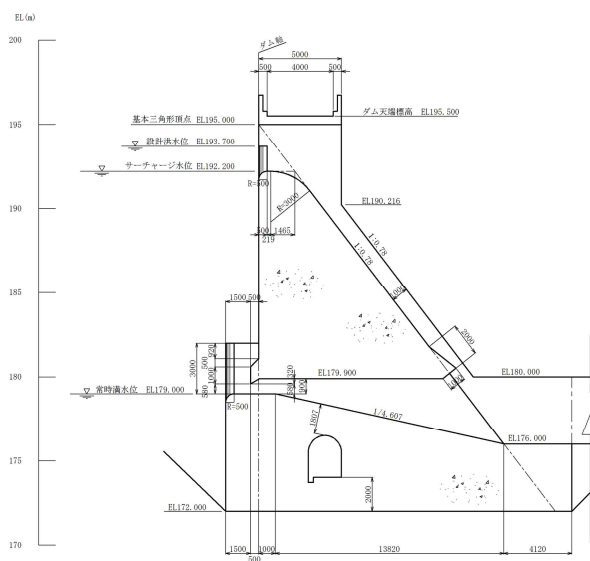
ダム平面図



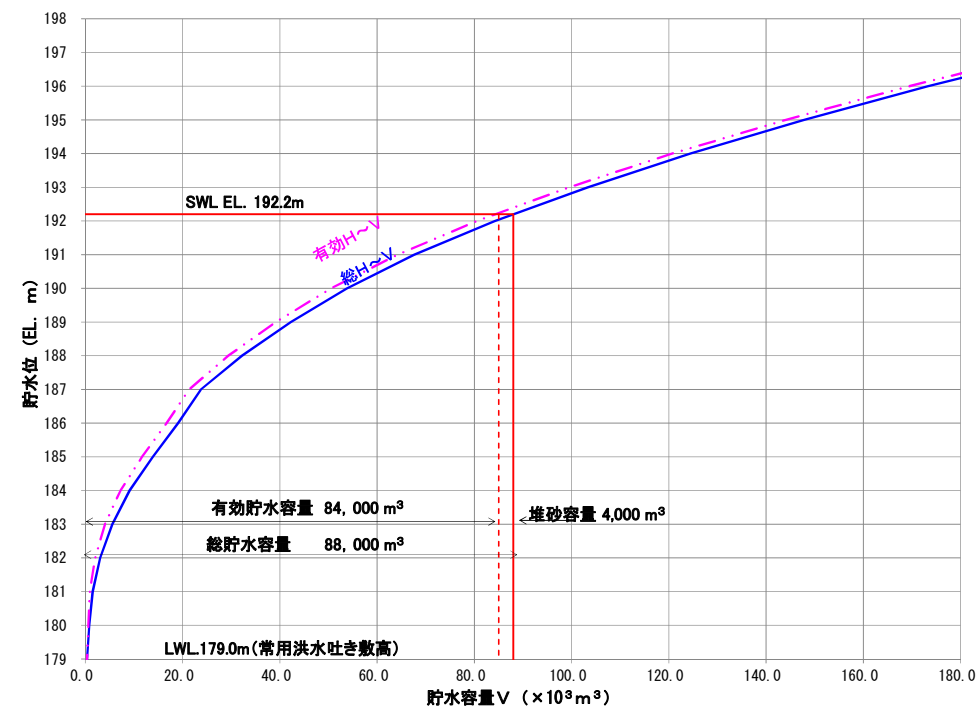
容量配分図



ダム標準断面図



貯水容量図

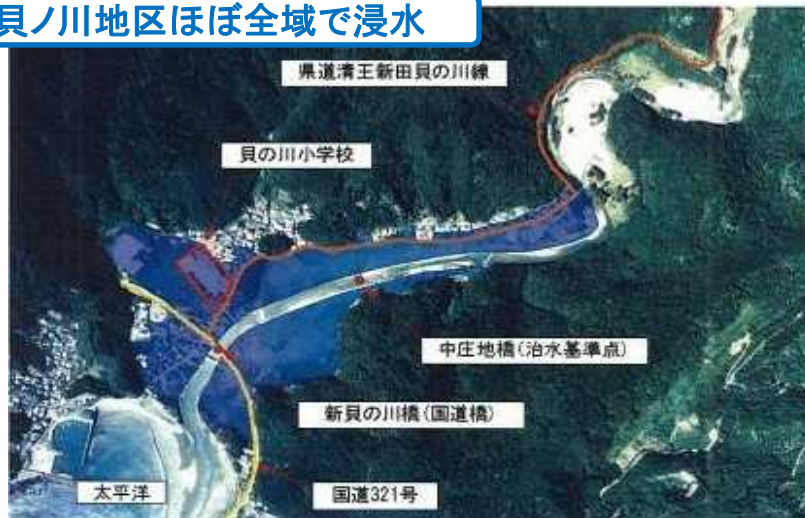


春遠生活貯水池の必要性(治水)

平成13年9月の高知県西南部豪雨による被災状況

地 区		全 世帯数	人口	全壊	半壊	一部 損壊	床上 浸水	床下 浸水	合計	浸水農地 面積(ha)
土佐清水市	貝ノ川・藤ノ川・鳥淵	147	289	1	20	1	5	21	48	0
大月町	春遠	58	148	0	2	0	2	1	5	22.4
合 計		205	437	1	22	1	7	22	53	22.4

貝ノ川地区ほぼ全域で浸水



中庄地橋付近の被災状況



中庄地橋下流部の被災状況



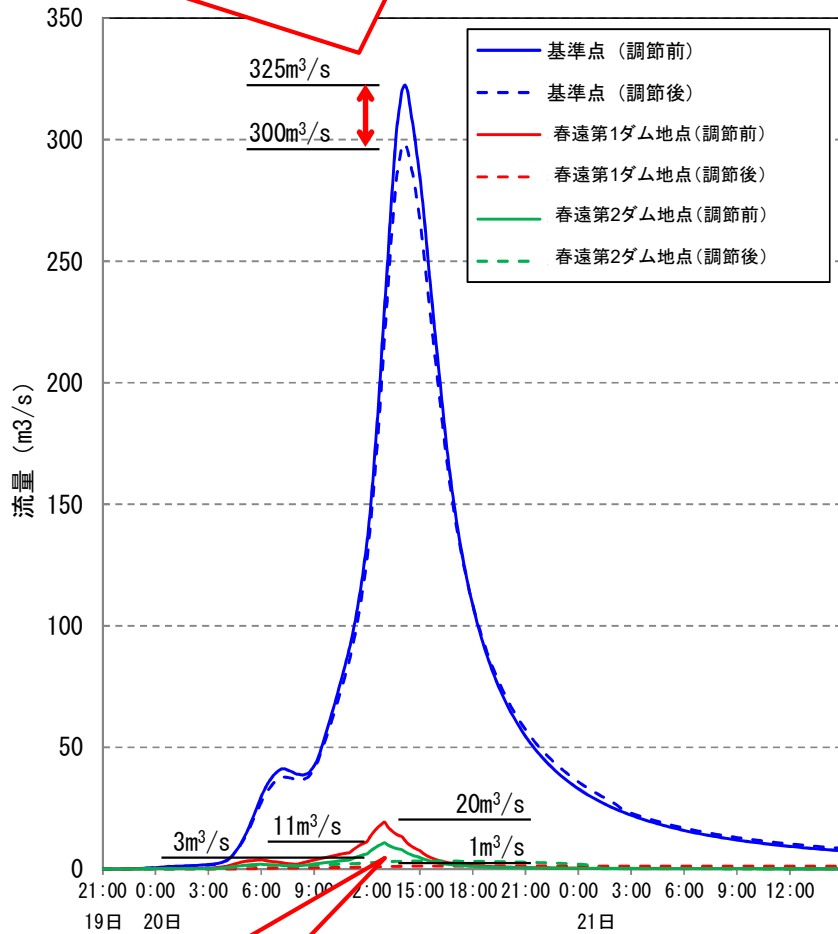
貝の川小学校の被災状況

【過去の主な洪水災害】

- 昭和54年9月の台風16号(床上1戸、床下5戸)
- 昭和55年8月の豪雨(床下5戸)
- 平成13年9月の高知県西南部豪雨
 - 浸水被害: 床上12戸、床下52戸 全半壊53家屋
 - 市民生活および財産、公共施設に甚大な被害
 - ・ 貝ノ川地区ではほぼ全域で浸水
 - ・ 氾濫水位は河床から6mに達した
 - ・ 貝ノ川小学校など、土砂堆積による被害も多く発生

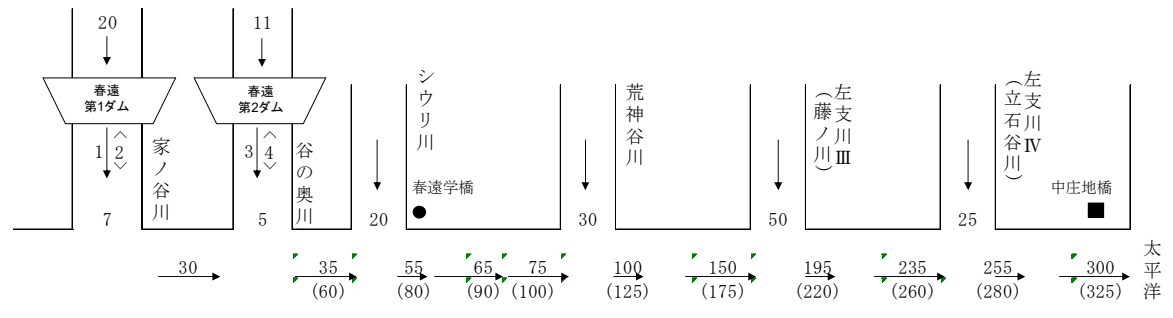
- 春遠第1・第2ダムの整備により、洪水時の流量低減と、下流の水位低減が可能(詳細は次頁)

春遠ダム(第1ダム・第2ダム)の洪水調節により
治水基準点で25m³/sの低減
が見込まれる。



ダム地点で合計
27m³/sの低減

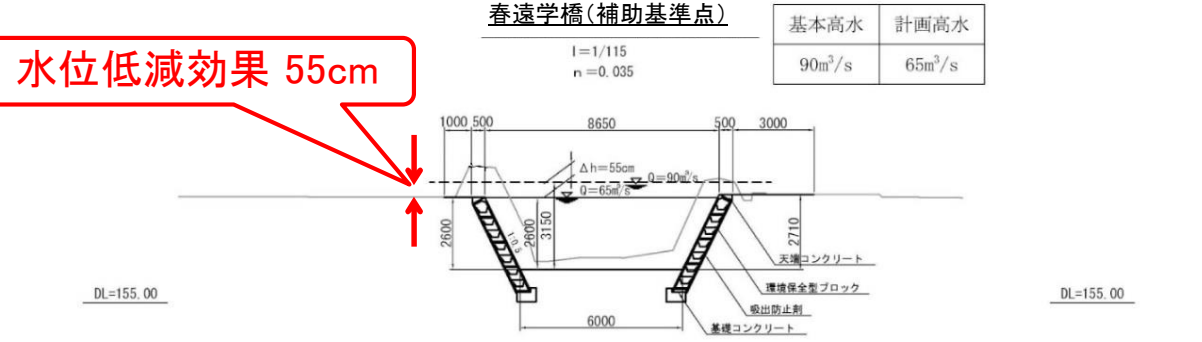
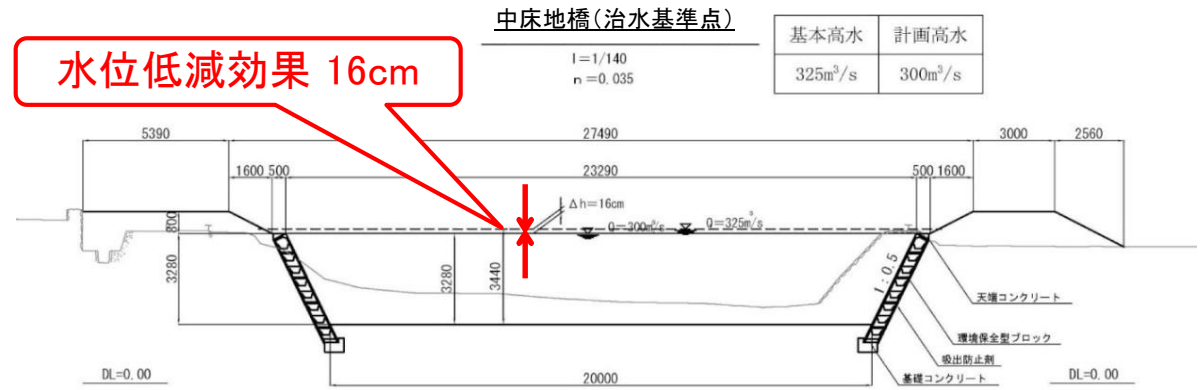
洪水調節図



流量配分図

水位低減効果 16cm

水位低減効果 55cm



水位低減効果図

凡例
 < > : 最大放流量
 () : 基本高水ピーク流量
 ■ : 治水基準点
 ● : 補助基準点
 ※最大放流量は、サーチャージ水位時での放流量を示す。

春遠生活貯水池の必要性(利水)

■現状・課題

○渇水期には河川の水量の減少により、頻繁に正常流量が不足

○大月町の水源は、小河川の表流水やため池に依存する簡易水道であり、水源は非常に不安定で、渇水期には需要に見合う給水が困難な状況が発生している。(平成8年は1日18時間の断水が14日間発生)

■事業の効果・目標

●流水の正常な機能の維持；家ノ谷川及び貝ノ川川沿川の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持と増進を図る。

●水道用水；大月町に対して新たに1日最大660m³/日の水道用水の取水を可能にする。



通常期: 河川に水が流れている
中小路頭首工上流部 [H15.7]



渇水期: 河川が枯渇し正常な機能が失われる
中小路頭首工上流部 [H16.2]

年月	制限日数	日断水時間
平成元年 8月	14日間	7時間
平成 2年 8月	10日間	6時間
平成 3年 8月	9日間	8時間
平成 6年 7月	9日間	9時間
平成 7年 9月	14日間	18時間
平成 8年 1月	14日間	18時間
平成 9年12月	3日間	6時間
平成10年12月	3日間	6時間
平成11年12月	3日間	6時間
平成12年12月	3日間	6時間
平成19年4月	19日間	0時間
平成22年3月	7日間	0時間
平成23年7月	6日間	0時間

(大月町建設環境課聞き取りによる)



大月町内における断水時の給水作業状況
(姫ノ井地区 撮影:H7(1995).9.20)

○大月町簡易水道事業

春遠ダム付近の簡易水道5ヵ所を統合するとともに水道未普及地区を新たに計画給水区域に取り込み水道用水の補給を行う。計画取水量660m³/日、給水人口1,700人
※計画1日最大給水量600m³/日(水路損失10%)

●春遠第1ダムにより河川維持用水、水道用水の安定供給が可能